

令和3年10月13日付【環境新聞】

<下水道のグリーン化など>

国交省下水道部に提案書

協 水 コ ン 水 下 水 道 の グ リ ー ン 化 な ど 国 交 省 下 水 道 部 に 提 案 書

全国上下水道コンサル
タント協会は4日、村上
雅亮会長ら幹部が国土交
通省の植松龍二下水道部
長を訪問し提案書を提
出、意見交換した。村上
会長は冒頭、「温室効果
ガスを排出しないシステ
ムへの転換、気候変動に
備える体制の強化、そし
て、安心して生活できる
環境の創造に、下水道は
ますます重要性が増す」
と述べ、持続可能な社会
に向けた下水道事業の役

割を改めて強調した。

水コ協は「ポストコ
ロナおよび持続可能な社
会に向けた下水道事業推
進の提案」として、①下
水道事業の着実な事業執
行と予算確保②災害の甚
大化・多発化に対して防
災・減災・強靱化の加速
③カーボンニュートラル
に向けた下水道のグリー
ン化推進④下水道のデザ
イニング(ＤＸ)の推進⑤
持続可能な下水道事業に

に向けた官民連携事業の推
進——を要望した。

2050年カーボン
ニュートラル、30年温室
効果ガス46%削減に向け
ては、公的部門の先導的
対応が求められており、
エネルギー負荷の大きい
下水道事業の果たす役割
は大きいとした。それを
踏まえ、省エネ機器や省
エネシステムの導入、広
域化・施設再編による効
率化、地域バイオマスも
含めた汚泥の資源利用、
再生可能エネルギー活用
の推進、そのための地方
公共団体への財政支援が
必要だとしている。